

生活保護の光と影

社会 A 班 磯部 未来

1. はじめに

近年、芸能人なども身内が受給していたとして、話題になっていた生活保護制度に興味を持ち、調べました。どうしてこのような問題が起こってしまったのか、セーフティネットのあるべき姿は何かを知りたいです。

2. 研究方法

生活保護に関する書籍を読み、その情報をもとにいろいろ推測しながら調べる。生活保護の問題点と、その時代の背景について調べる。

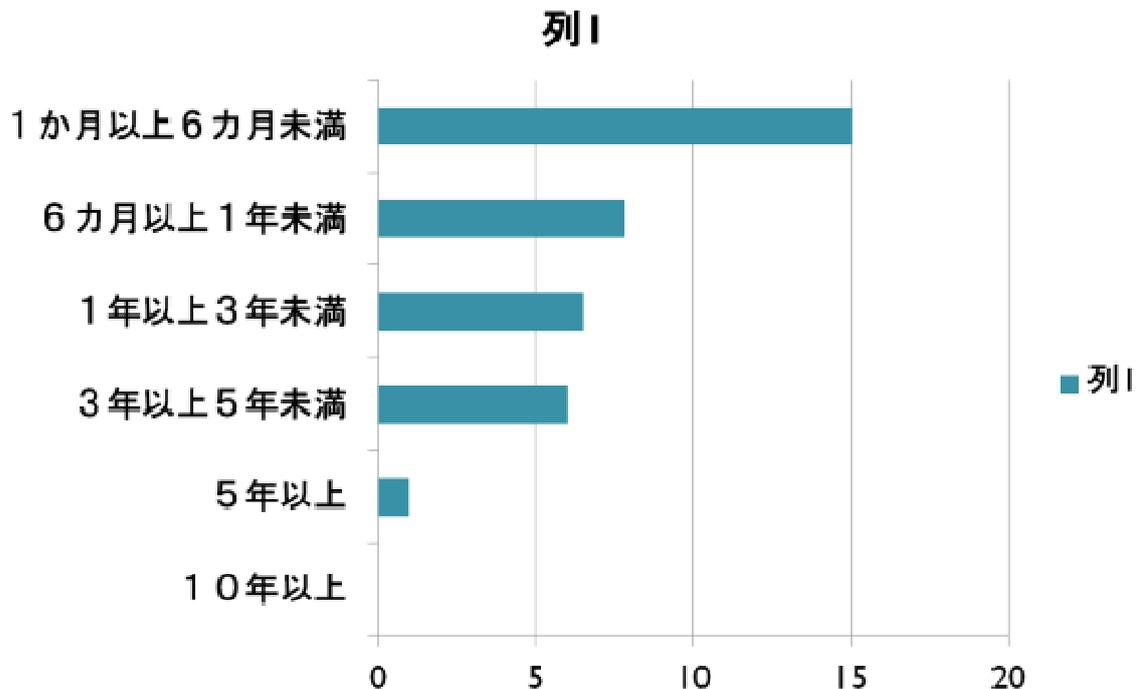
3. 結果・考察

生活保護の制度上の問題点は、2つ挙げられます。

1つ目は、働ける世代の受給です。

彼らの中には生活保護を受給しながら、仕事を探している人もいます。彼らには勤労意欲がないわけではないのです。ではなぜか？それは、派遣切りや、会社の倒産などで職を失い。数々の面接を受けるも落ち続け、精神的にショックを受けている人が多いからです。生活保護は一度受けるとなかなか抜け出せないというのが問題になっています。

生活保護受給期間と停廃止人数



これは、生活保護を受給してから仕事を見つけ、受給を廃止した人についてのグラフです。半年以内に職を見つけて受給を取りやめる人がこれほどいるのに対し、10年以上も生活保護を受給し続けている人は一人も廃止されていません。これを見てわかるように、生活保護を受けだして、職を見つけないまま長い年月を経ってしまうと、抜け出すことがほぼ不可能になってしまいます。

そして、その原因の一つとして、生活保護でもらえる金額が最低賃金で働いてももらえる額とほぼ変わらないということが考えられます。一生懸命働いても、全く働かない人と同じくらいの額しかもらえないと、やはり仕事のやる気を失いがちになってしまいます。これは今後改善すべき問題点だと思います。

二つ目は、不正受給です。昔は生活保護の受給するための認定基準が厳しかったのに対し、現在は以前よりは比較的受給しやすくなっているということが原因であると思います。そのため、偽装離婚や所得隠し、さらにはうつ病であると嘘をついて受給する人がたくさんいます。

4. 課題

現在、安部首相が生活保護の制度を見直して、フードスタンプなどにしたいとおっしゃっているので、これからの動きに着目したい。外国の保護制度と比較して、利点、欠点を調べたいです。

受給者の自立を促すために、生活保護の受給期間を定めて、それまでに仕事を見つけ自立できるようするべきだと私は思います。

5. 参考文献ならびに参考 web ページ

『生活保護 3 兆円の衝撃』 NHK 取材班 宝島社